

1 生産性向上に向けた人材育成の強化

【ねらい】

新技術やグローバル化への対応をはじめとした在職者等の訓練や、労働者のキャリア形成の支援等により、生産性向上に向けた人材育成の強化を図る。

【現 状】

- ・ 人口減少・少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少。労働力人口も2005（H17）年の702千人から2015（H27）年には605千人に減少。今後も人口減少や少子高齢化の進行に伴って労働力人口は減少していくものと予想される。
- ・ わが国の労働生産性の状況を欧米諸国と比較すると、相対的に低い水準にとどまっており、その向上が喫緊の課題となっている。

【取組みの基本的方向性】

- ・ 少子高齢化の進行による労働力人口の減少が進むなか、I o Tやロボットなどの技術革新や、グローバル化に対応して、生産性の向上を図ることができる人材の育成を進める。

【基本的な施策】

1 生産性向上を担う人材の育成

- ・ ロボット制御技術やI Tなど、生産性の向上につながる新たな技術の在職者訓練の実施
※能力開発セミナー ※デジタルものづくり人材育成支援事業
- ・ 現場改善や、コストマネジメント、生産工程の設計・管理など、生産現場の中核的人材の育成
※ものづくり人材パワーアップ研修
- ・ 卸小売・飲食・生活関連サービス業分野におけるI T利活用や効果的な店舗運営に関するセミナー等の開催
- ・ 県立大学でのロボット工学やI o T関係分野の充実や、在職者に対する高度な技術者教育の実施
※**新**知能デザイン工学科でのロボット工学等の分野を充実
※若手エンジニアステップアップセミナー
- ・ 「ものづくり研究開発センター」の最先端設備を活用した先端ものづくり人材の育成
※高度ナノテク人材育成事業 ※長期インターンシップ
- ・ 海外ビジネスに必要な知識・スキル、コミュニケーション力を有する人材の育成
※グローバル企業人材育成支援事業 ※能力開発セミナー
- ・ 高度な機械加工などの技能を習得するための在職者訓練の充実
※高度技能人材育成研修

2 労働者のキャリア形成や、企業における人材育成の支援

- ・ 労働者の主体的なキャリア形成を支援するため、多様な訓練メニューの提供や、国助成制度の周知
- ・ 企業においてキャリアコンサルティングや能力開発を行う職業能力開発推進者の選任を促進
- ・ 企業が行うキャリアコンサルティングにかかる、国助成制度の周知

2 ものづくり産業の発展を支える人材の育成

【ねらい】

本県ものづくり産業の基盤となる技術の継承と、将来のものづくりを担う人材の育成を推進する。

【現 状】

- ・ 本県は、全国有数のものづくり県として発展し、高度な技術と熟練の技能に培われたものづくり産業が県内産業・経済及び雇用を支えてきた。
- ・ 近年の人口減少・少子高齢化や産業構造の変化、グローバル化の急速な進展、IT、ロボット等の技術革新など、様々な環境変化の中で、就業者や高度熟練技能の担い手の減少、熟練技能の継承、国際競争の激化、企業における計画的な人材育成など、さまざまな課題に直面している。

【取組みの基本的方向性】

- ・ 高度熟練技能等の円滑な継承に取り組むとともに、将来のものづくりを担う若手技能者の着実なスキルアップのため、基礎的な技能の習得から個々の技能レベルに応じた技術指導など、きめ細かな指導・訓練を行う。
- ・ 高度熟練技能者の顕彰制度や技能検定制度の一層の普及等により、技能の振興や技能労働者の地位向上のための環境の整備を図る。また、若者が技能に関心を持ち、本県のものづくり産業を担う人材を目指すようなものづくりマインドの醸成を図る。

【基本的な施策】

1 ものづくり人材の育成

- ・ 技術専門学院における職業訓練の充実
 - ※学卒者訓練、離職者訓練、在職者訓練
- ・ 熟練技能者が若手技能者を指導する研修の実施
 - ※高度技能人材育成研修 ※若年技能者人材育成支援事業
 - ※ものづくり人材パワーアップ研修
- ・ 認定職業訓練校の普及や支援の充実
- ・ 雇用型訓練等による実践的な人材育成の実施
 - ※**拡**ものづくり職人確保育成事業 ※ものづくり人材等育成支援事業
- ・ 伝統工芸のすぐれた技能の継承への支援
 - ※**新**伝統工芸「匠の技術」継承支援事業 ※**拡**とやま新伝統工芸人材確保育成事業

2 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

- ・ 「とやまの名匠」制度の周知
- ・ 「技能士」の社会的評価のための技能検定制度の一層の普及と制度の着実な実施
- ・ 技能の全国大会への参加の促進や上位入賞者に対する顕彰制度の実施
 - ※富山ものづくり技能奨励賞
- ・ 小・中学生による「ものづくり体験」の機会の創出
 - ※技術専門学院での「ものづくり教室」の開催
- ・ 高等学校における「ものづくり教育」の充実
 - ※**新**高校生ものづくりマイスター育成事業 ※**新**ものづくり女子育成事業

3 介護、建設など地域の担い手となる人材の育成

【ねらい】

介護・福祉、建設業、農林水産業など、人手不足となっている分野において、地域のニーズを踏まえた人材を育成する。

【現 状】

- ・ 農林漁業等の第1次産業、製造業、建設業等の第2次産業から、サービス業等の第3次産業へと産業構造の比重が移ってきており、経済のサービス化が進展している。今後も高齢化の進行を背景として、介護・福祉、医療等の高いニーズが予想される。
- ・ 介護分野では、高齢化の急速な進行に伴う人材ニーズの高まりや若者の福祉離れ、就職者の早期退職などにより、人手不足が顕著となっている。
- ・ 建設分野では、就業者の高齢化が進んでおり、高齢層の熟練技能者が退職を迎えるなか、若年層の著しい減少により、建設技術・技能の継承、維持が大きな課題となっている。
- ・ 雇用情勢は、世界的な経済危機の影響により厳しい状況であったが、景気の緩やかな回復を受けて、2013年（H25）には、有効求人倍率が5年ぶりに1倍台を超え、1.21倍になるなど、着実に改善。生産年齢人口の減少ともあいまって、幅広い分野で人手不足となっている。

【取組みの基本的方向性】

- ・ 少子高齢化や産業構造の変化などが進展するなか、労働力需給ギャップが拡大しており、人手不足となっている介護・福祉などの分野で、地域ニーズを踏まえた人材育成を進める。

【基本的施策】

産業構造の変化、求職者のニーズの多様化等に対応するため人手不足分野での人材の育成

- ・ 地域の人材ニーズに対応したカリキュラムの見直しなど、離職者訓練や在職者訓練の充実
- ・ 職業訓練施設における新たな訓練科の設置や民間教育訓練機関による多様な訓練コースの導入

<個別の分野>

- ・ 介護・福祉分野 ※富山型デイサービス施設人材確保育成事業
※**④**元気とやま福祉人材確保・応援プロジェクト事業
〔
 - ・ 介護従事者参入促進研修事業
 - ・ 介護実習連携強化応援事業
 - ・ 介護人材移住応援事業
 - ・ がんばる介護事業所表彰事業 など〕
- ・ 建設分野 ※**③**建設人材確保育成事業
※**④**建設人材教育訓練等事業
- ・ 農林漁業分野 ※とやま農業未来カレッジ事業

5 全員参加の社会の実現加速に向けた人材の育成

【ねらい】

女性、若者、中高年齢者、障害者等、多様な人材が自らの能力を高め、その能力を有効に発揮できるよう、人材の育成を進める。

【現 状】



- ・ 人口減少・少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少。労働力人口も2005（H17）年の702千人から2015（H27）年には605千人に減少。今後も人口減少や少子高齢化の進行に伴って労働力人口は減少していくものと予想される。
- ・ 本県の女性の労働力率は全国平均よりも高いが、年齢階級別に見ると、全国と同様、25～29歳と45～49歳を左右のピークとして30～34歳をボトムとするM字カーブとなっている。
- ・ 若者については、新規学卒者の就職率は高卒、大学卒ともに近年は上昇傾向で推移する一方、卒業後3年以内に、おおよそ3人に1人の割合で早期に離職している。また、ニート、フリーターは、全国的に高い水準で推移している。
- ・ 高齢者の増加、65歳までの定年引上げ・継続雇用制度の導入等を背景に、働く高齢者が増加しており、職業人生の長期化するなか、職業生涯を通じて能力を発揮できることが必要である。

【取組みの基本的方向性】

- ・ 少子高齢化による労働力人口の減少が進む中、労働力を維持・確保し、本県産業の活力を維持していくため、誰もが働きやすい環境の整備とともに、女性、若者、中高年齢者、障害者等、多様な人材が自らの能力を高め、その能力を有効に発揮できるよう、人材を育成する。

【基本的な施策】

1 女性の職業能力開発への支援

- ・ 女性の再就職への支援のため、多様な訓練・研修の充実
 - ※女性の再就職パワーアップ応援事業
- ・ 育児等と両立しやすい短時間訓練コースの設定や託児サービスの提供
 - ※ものづくり女性育成訓練事業
- ・ 女性のスキルアップを図るための在職者研修等の実施
 - ※煌めく女性ネットワーク事業


2 若者の職業能力開発への支援

- ・ 企業での実習を併用した実践的な職業訓練（デュアルシステム）の推進
- ・ 若手技能者を対象とした作業改善スキルや高度技能の習得を図る研修の実施
 - ※高度技能人材育成研修 ※ものづくり人材パワーアップ研修
- ・ ニート・フリーター等の若者の自立のための支援の促進
 - ※ヤングジョブ・サポステでの訓練


3 中高年齢者の職業能力開発への支援

- ・ これまでの知識・経験を活かし、新たな分野の再就職につながる職業訓練の実施
- ・ シルバー人材センター等と連携し、多様な働き方に応じた能力開発・情報提供・就職紹介等の支援

4 障害者の職業能力開発への支援

- ・ 障害者の態様に応じた職業訓練の実施
 - ※障害者就労支援事業所とプロとのコラボによる人材育成事業 ※民間委託訓練
- ・ 障害者の職業能力の向上や雇用促進等のため技能競技大会への参加を促進
 - ※アビリンピック開催支援

5 外国人労働者の職業能力開発への支援

- ・ 外国人技能実習生の技能習得の支援
 - ※技能検定の実施（期間延長に伴い、随時3級検定の実施（予定））

6 職業能力開発の推進体制の整備

【ねらい】

企業、行政及び民間教育訓練機関の役割分担と連携の促進により、職業能力開発を一層充実する。

【現 状】

- ・ 県立の技術専門学院のほかに、(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構の北陸職業能力開発大学校（ポリテクカレッジ）及び富山職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）が、学卒者、離職者及び在職者に対する公共職業訓練を実施している。
- ・ 県内には 28 の専修学校・各種学校（自動車学校及び予備校を除く）のほか、短期の教育訓練を行う事業所も数多く設置されており、県や機構が離職者に対して行う公共職業訓練を受託し実施している。
- ・ これまで公共職業訓練の充実や民間教育訓練機関の積極的な活用を図るため、技術専門学院の組織や訓練内容の充実・見直しを進めるとともに、企業の能力開発を支援するオーダーメイド型訓練の拡充を図っている。
- ・ 県内企業では、雇用する労働者に対する教育訓練が行われているが、厳しい経営環境の中、「計画的」な訓練は低い実施率に留まっており、職業能力開発選任者の選任も停滞している状況にある。

【取組みの基本的方向性】

- ・ 県が担う公共職業訓練については、産業構造や技術革新の動向と県内産業のニーズを踏まえながら、実施している訓練内容の見直しやその改善を図るとともに、職業訓練指導員の指導力や資質の向上に努めていく。
- ・ 県内企業のニーズや雇用情勢の動きに対応した在職者・離職者訓練の迅速で効率的な実施のため、国、機構、経済団体との連携を促進するとともに、民間教育訓練機関のノウハウの一層の活用を図る。
- ・ 県内企業の能力開発の現状や課題を踏まえ、企業が実施する能力開発の支援や補完といった観点から、企業ニーズを踏まえた在職者訓練の充実に努める。

【基本的施策】

1 県が行う職業能力開発の向上・改善

- ・ 県が行う公共職業訓練内容の継続的な見直しと指導員の資質向上

2 国、県、機構、民間訓練機関、産業界との連携促進

- ・ 関係機関との連携強化
- ・ 民間教育訓練機関の更なる活用の促進
- ・ 県内の職業能力開発施策に係る広報・情報発信機能の強化

3 企業の職業能力開発力向上への支援

- ・ 企業内の職業能力開発推進者の設置促進
- ・ 企業の能力開発を補完する在職者訓練の充実